

# 〇〇の秋

芸術の秋、読書の秋、食欲の秋、スポーツの秋、秋は色々楽しめますね。

それぞれの秋にぴったりの本を選びました🍁

『写真みたいな絵が描ける色鉛筆画』 三上 詩絵/著  
初心者からでもステップアップでここまで表現 日本文芸社



まず表紙の絵のインパクトに目を奪われ、ページを開けば、色鉛筆だけで描かれているとは信じがたいほど精巧で緻密な絵の数々に圧倒されます。へえ〜、この色はこんな風に作るんだ！など、絵と作画方法を眺めて楽しむもよし、実際に描くことにチャレンジしてみるもよし、芸術の秋にピッタリな一冊です。

『十一月の扉』 高樓 方子/著 福音館書店



偶然見つけた近所のおしゃれな洋館「十一月荘」に一目惚れをしてしまった中学生の爽子。時同じくして転勤が決まった親を説得し、学期末までの2ヵ月間だけ、その館で下宿をさせてもらう許可をとりつけます。十一月荘の個性豊かな住人達と豊かな時間を過ごしているうちに、爽子はお気に入りのノートにそれらを基にした物語を綴るようになり…。

🍁読書の秋に『家読』をしてみませんか🍁  
家読ノートはカウンターにあるよ

『鹿男あをによし』 万城目 学/著 幻冬舎



二学期だけの代用教員として、奈良の女子高に赴任した「おれ」。堀田という生徒にふりまわされていたある日、奈良公園の鹿が語りかけてきた。「さあ、神無月だ —— 出番だよ、先生」…。秋の奈良を舞台に繰り広げられる、奇想天外な青春物語。

『タスキメシ -箱根-』 額賀 滯/著 小学館



「努力は裏切る。ここぞってところで裏切る。—」走るのが好きでたまらない主人公が、報われる努力ばかりではないことを知りつつも、それでも後悔しないというほどの熱い思いで箱根を目指す。真摯に取り組むことの大切さ、気取らない料理の数々にも感動する。汗をかいて、おいしいものが食べたくなる、『駅伝×グルメ』の青春小説。

『生き抜くためのごはんの作り方』 河出書房新社/編  
悩みに効く16人のレシピ -14歳の世渡り術-



現在活躍中の料理のプロたちが、料理初心者でも気軽にチャレンジできそうなレシピを、エッセイとともに紹介しています。多くの著者が「自分で食事を作れることが、自分自身を養っていること(つまり自立)だ」と言っているのが印象的です。